



「こどもの読書週間」に家族みんなで読書に親しもう！

毎年、4月23日から5月12日までは「こどもの読書週間」です。この取組は、1959年（昭和39年）にはじまったもので、子どもたちにもっと本を！との願いから、4月23日の「世界本の日・子ども読書の日」を始まりとする20日間に設定されています。

今年の「こどもの読書週間」の標語は、「ひらいてとじた 笑顔がふえた」です。小さい頃から本に親しみ、読書の喜びや楽しみを知って、物事を正しく判断する力をつけることは、子どもたちが大きくなるためにとっても大切なことです。「こどもの読書週間」は、子どもたちに、よい本に親しむことをすすめ、読書の楽しみや喜びを知らせ、正しい読書の習慣を身に付けてもらうとても良い機会です。そして大人にとっては、子どもの読書がいかに大切なことか、良い本に親しんでもらうためにはどういう努力をしたらよいか考える機会となります。「こどもの読書週間」を機会に、子どもも大人も一緒になって読書に親しんでみましょう。



家族で一緒に取り組もう「1日20分読書」のすすめ！



令和4年度に改定された「徳之島町子ども読書活動推進計画」では、子どもが生涯にわたる読書習慣を身につけるためには、乳幼児期から読書に親しみ、小学生期、中学生期、高校生期へと子ども自身がその成長に応じて読書の楽しさを知ることができるよう、読書環境の整備に社会全体で取り組んで行くことが必要としています。中でも、『「1日20分読書」運動～心に残る1冊の本との出会い～』を基本方針として読書活動を推進していきます。

Q.「1日20分読書」運動とはどのような運動ですか？

全ての子どもが一日に少なくとも20分程度の時間を読書に親しむ運動のことです。

図書館に心に
残る「1冊の
本」を探しに
行きましょう。

Q.発達年齢別の「1日20分読書」に取り組むポイントはありますか？

読書推進計画では、下記の取組を推進していますので参考にしてください。

○乳幼児期は「家族と一緒に20分」

乳幼児期の子どもには、読み聞かせなどの家族の協力が必要です。家族一緒に読書の時間をつくりましょう。

10歳頃までは一緒に読み聞かせをしましょう。

○小学生期は「朝読み夕読み20分」

小学生の時期は、言葉や文章の意味を考えながら音読することが効果的です。朝夕の音読を続けましょう。

○中学生期は「ジャンルをひろげて20分」

中学生の時期は読書の幅を広げることが大切です。文学、科学、歴史など様々なジャンルの本に幅を広げて読んでみましょう。



公民館講座 受講生募集中



令和5年度の公民館講座の受講生の申込みは、4月1日（土）から14日（金）の2週間（必着）となっております。応募は、チラシのはがきを利用し、郵送か学習センターへの直接持参となっております。

今年度の講座は全体で29講座。新規の講座に「ゆる筆文字講座」、「楽しくディスコステップ」、「プリザーブドフラワー」他3講座が加わりました。

新しく何かに挑戦したい方、自分自身のスキルアップを図りたい方など、町民の皆さまのお申込みお待ちしております。（詳しくは募集チラシをご覧ください）



睡眠について考える「眠育講演会」を開催

3月2日（木）、町生涯学習センター2階ホールで、「令和4年度眠育講演会」が開催されました。この講演会は、町青少年育成町民会議と町家庭教育支援チーム「つむぎたい」が共通課題としている、子どもたちの睡眠の大切さについて幅広い世代へ理解してもらおうことを目的として開催されました。

当日は、講師に一般社団法人 日本快眠協会 代表理事の今枝 昌子氏を迎え、睡眠の基礎知識や、睡眠が子どもに与える影響、快眠のための実践セルフケアについて実践を交えながら講演が行われました。講演では、日本の子どもたちの睡眠の少なさに触れ、子どもたちにとっての睡眠が身体だけでなく、こころや学習面へ影響も大きいとして、睡眠環境を整えてあげることの重要性を指摘しました。そのための「眠れるカラダの作り方」として、緊張を解いてリラックスする感覚を養うための「漸進的筋弛緩法」と血流を促し循環の良い身体づくりをおこなう「あしうら快眠法」について実践を交えながら説明がありました。

参加者からは、「睡眠の大切さがわかった」、「今日からぐっすり眠れそう」、「少し揉んだだけで足がぽかぽかになった」等の感想があがっていました。



劇団四季がやってきた！

2月28日、徳之島町文化会館において、劇団四季のファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」公演がありました。

この公演は、徳之島三町がふるさと納税を活用して実施したもので、徳之島での公演は4年ぶりの開催となりました。当日は、徳之島三町の小学4年生以上を主な対象として、午前と午後の2公演、約800人が鑑賞しました。

多くの子どもたちにとっては、初めてみる本格的なミュージカルで、リアリティのあるセットや、舞台上で生き生きと踊り歌う出演者たちを、子どもたちは目をキラキラと輝かせながら見入っていました。



「えんぴつの持ち方講座」を開催

2月25日、町生姜学習センター和室において、子育てサロンママnavi「えんぴつの持ち方講座と親子読書のススメ」とミニ縁日が開催されました。

この講座は、町家庭教育支援チーム「つむぎたい」が不定期開催している、子育てサロン「ママnavi」と併せて開催したもので、小学校入学前の園児と保護者に一緒に正しいえんぴつの持ち方を学んでもらう講座となっています。また、今回は親子読書のススメとして、小さい頃からの読書習慣の大切さや、家族で「家読20分運動」に取り組みましようとする読書についての講話も行われました。

最後は、「ミニ縁日」として、参加した子どもたち全員で、ヨーヨー釣りや射的、わなげと遊びも勉強も楽しんだ時間となりました。



4月行事予定

4月6日（木） 町立小中学校入学式・始業式

4月10日（月） 町立幼稚園入園式

4月16日（日） 家庭の日

4月22日（土） 「子ども読書の日」おはなし会

4月23日（日） 町スポ少交歓大会軟式野球競技



4月のおはなし会 8日・22日



家庭教育支援チーム「つむぎたい」から一言

学校で学ぶことは 「生きる力」につながる

読む力、計算する力、他人とコミュニケーションをとる力、テレビ等が報道する内容を理解する力など、大人になって必要な「生きる力」の基本は学校で学びます。子どもたちには学校でたくさん学び、「生きる力」を身につけてほしいと思います。

